

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		豊島区図書館経営協議会（令和6年度第1回）
事務局（担当課）		文化商工部図書館課
開催日時		令和6年7月26日（金）午後6時00分～午後8時00分
開催場所		あうるすぽっと3階 会議室B
議 題		<p>(1) 区長挨拶</p> <p>(2) 委員紹介</p> <p>(3) 会長及び副会長選任</p> <p>(4) 概要説明</p> <p style="padding-left: 20px;">①豊島区図書館経営協議会について</p> <p style="padding-left: 20px;">②豊島区立図書館の概要について</p> <p>(5) 第8期（令和6年度～7年度）協議事項について</p> <p>(6) 令和5年度豊島区立図書館事業報告について</p> <p>(7) 令和5年度豊島区立図書館運営評価について</p> <p style="padding-left: 20px;">①令和5年度豊島区立図書館運営状況の評価＜総括＞</p> <p style="padding-left: 20px;">②同＜豊島区立図書館第二次基本計画の進捗状況＞</p> <p style="padding-left: 20px;">③同＜利用者アンケート結果＞</p> <p>(8) 令和6年度豊島区立図書館事業計画について</p> <p>(9) その他</p>
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 1人 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	稲井 達也、河本 毬馨、新井 裕、牧野 崇、酒井 由江、 野中 由香子、春日 美乃、尾花 宏子、数藤 沙綾、 渡辺 ひかる、渡邊 圭介、武井 悦子、吉田 和夫
	そ の 他	豊島区長 高際みゆき
	事 務 局	図書館課長【中央図書館長】 図書館課 管理係長、資料係長（点字図書館係長）、 サービス基盤係長、サービス基盤主査、 サービス運用係長、巣鴨図書館長、千早図書館長

【区長挨拶】

区長：第8期豊島区図書館経営協議会の委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。

昔は図書館というと本の貸し借りをを行う場所であったが、今は他のどんな施設よりも様々な顔がありコミュニティの場となっている。本区では令和4年3月に第二次豊島区立図書館基本計画を作成し、「にぎやかな公共図書館」をテーマとした。これから豊島区は、いろんな役割を持つ図書館を目指していくため、様々なご意見をいただきたい。

現在、豊島区では10年後の将来を見据えた豊島区基本構想と、基本構想を達成するために5年間の基本計画を作成している。この基本計画に図書館を1つの項目として掲載し力を入れている。図書館で街の価値が決まるという思いがあるため、たくさんのご指摘をいただきたい。

【本日の会議について】

(事務局より資料1から資料18、別冊の確認)

事務局：委員13名全員出席。過半数に達しているため豊島区図書館経営協議会規則(以下規則)第7条に基づき会議の成立とする。

【委員紹介】

委員全13名の自己紹介

【会長及び副会長選任】

規則第5条に基づき本会の会長、副会長の互選

決定

以降進行役を会長へ引き継ぎ

(事務局より会議の公開、会議録の取り扱いについて説明)

傍聴希望者1名

【概要説明】

(事務局より資料4～9について説明)

会長：質問、意見はあるか。

委員からの質問、意見なし

【第8期(令和6年度～7年度)協議事項について】

事務局：今期の協議事項案は2点あり、1点目は図書館運営の評価。事業実績、各種デ

一タ、利用者アンケート結果、図書館基本計画の進行管理等を毎年度実施する。まず内部評価をおこなった後、本会で意見をいただき、館の運営改善、サービスの充実に反映する。

もう1点は任期の2年間で特定のテーマを定め、協議していく。事務局からは「にぎやかな公共図書館」を協議テーマとして提案する。必ずしも静かに利用するだけでなく様々なスタイルで利用できるという「にぎやかな公共図書館」が本区のテーマであり、実現にむけて今後の施設整備の際に、空間づくり、サービスの在り方について意見を賜りたい。

現在改定作業を行っている豊島区基本計画にも、図書館は多様な役割を持つ施設として様々な可能性があり、貸出だけではなく居場所、交流の場として、文化振興、生涯学習、地域コミュニティの拠点になっていくと記載している。また、本来機能である地域の情報センター、子どもの読書活動、学習活動のハブとしての機能も生かして新しい図書館を作っていく。

令和8年4月にオープン予定の上池袋図書館、令和10年にリニューアルオープンの千早図書館に新しいものをどう取り入れていくか、また一方で既存の図書館においては職員の意識改革、利用者サービス、館内ルール、関係機関との連携等多岐にわたり新しい図書館がどうあるべきかについて、以上テーマ案とする。

会長：「にぎやか」というのは「騒がしい」ということではなく、多様な場であるとの理解でよろしいか。

事務局：ご認識の通り。多様性と包摂の図書館を目指しているため、読書目的に限らず多くの人が多様な目的で利用しにぎわっていく図書館という意味を込めて「にぎやかな公共図書館」としている。

会長：他に意見がなければ提案どおり決定したいが、いかがか。

了承

【令和5年度豊島区立図書館事業報告について】

(事務局より資料11について説明)

会長：質問、意見はあるか。

河本委員：今年度の重点取り組みは令和5年度から変わるのか。または今年と同様の取り組みを今後も継続して発展させていくのか。

審 議 経 過

No. 3

事務局：資料16に「令和6年度豊島区立図書館事業計画について」があり、今年度の重点取り組みを掲載している。前期の報告の中からさらに強化するもののほか、新たに取り組むものもある。また、計画段階では柱としていないものでも、途中から重点的に取り組む必要があると判断するものもある。

委員：資料をみると今年の重点取り組みは去年とは大きく変わると感じた。何ををもってゴールとするのか、1年で取り組んできたものをどのように評価しているのかをお伺いしたい。

事務局：第二次豊島区立図書館基本計画で掲げているテーマに基づいて事業を実施しているが、この計画が理念計画となっているため、実際にPDCAサイクルを回せる形式となっていない。したがって評価としては必ずしも十分なものとはいえないが、次の議題「令和5年度豊島区立図書館運営評価について」で行っている。

委員：重点取り組みに対して図書館側としてどれだけできたかという自己評価のようなものがあるとよいのではないか。例えば、「快適な図書館の環境整備」もゴールとしてはわかりにくく、目標として掲げているものの中でどれだけできているのかが伝わりにくいと感じた。一方で「読書バリアフリーの推進」のりんごのたなはとても素晴らしく、自己評価も高いと思われる。よくできたところをより見える化すると良いのではないか。

会長：事務局より説明があったとおりやや抽象度が高いため、委員からの意見のように今後進めながら工夫していくことが必要。

副会長：中央館として全体として行うことと分館で行うことは異なる。報告を聞いたところ、それぞれの分館が特色あることをされている。今後可能であれば、分館ごとの目標を出してその目標に対する尺度を決め、中央館が統括すると良いのではないか。豊島の図書館2023を見ると、前半は全体、後半は分館の取り組みが掲載されていた。これをさらに明確にして、それぞれの分館の目標と評価という形にしていくと良いのではないか。

会長：読書バリアフリーの推進で他区などでは音訳や対面朗読のサービスを積極的に取り入れているが、そのような取り組みはあるか。

事務局：コロナ禍で休止していたボランティアによる利用者への対面朗読サービスを昨年度から再開した。利用ニーズの高いサービスのため、引き続き音訳図書、点訳図書、テキストデージー図書の制作とともに対人サービスにも力を入れていく。

【令和5年度豊島区立図書館運営評価について】

会長：評価というのは非常に難しく、詳細に協議すると数回を要するものになる。この会では、委員から意見を頂戴し、評価へ反映していくという方向性で進めたい。

① 令和5年度豊島区立図書館運営状況の評価<総括>

(事務局より資料13について説明)

② 同<豊島区立図書館第二次基本計画の進捗状況>

(事務局より資料14について説明)

③ 同<利用者アンケート結果>

(事務局より資料15について説明)

会長：質問、意見はあるか。

委員：図書館は調べもの等でよく利用しているが、中高生が本を読んでいる場面という
と、甲府にある山梨県立図書館は非常に充実していて子どもが行きたくなる図書館と
なっている。また、埼玉にあるおふろ café には長いソファや壁一面に本があるなど、
居心地の良い空間となっていて、中学生が本を読みながら過ごしているのを見かける。
品川駅近くにはコクヨのショールームがあり、読書スペース等もあって過ごしやすくな
っている。西池袋中学校や千川中学校にも図書室の隣に衝立等で落ち着けるスペー
スを作るなどしており、こういった空間があると中高生には喜ばれると思う。駒込図書
館では駒込中学校の生徒の作品を飾ったり、目白図書館では西池袋中学校の生徒が作
成した図書紹介のポップを掲示したりしている。中高生自身が関わるものがあるとよ
り足を運ぶのではないか。

委員：資料15の利用者アンケート結果に今後希望するサービスとして「勉強する席を
増やしてほしい」という要望がある。現状、図書館内の机は閲覧用であって自習用では
ないという捉え方となっているが、実際に席を使っていると周りの利用者のほとんど
が勉強目的で使っている学生が多いと感じる。方針として「にぎやかな公共図書館」を
目指していると思うが、これを実現するにあたって今後自習も可能となるのか。

事務局：ご質問の件は最重要課題であり、閲覧専用席、自習及び閲覧用席といったすみ
分けや、自習室の設置を予定している。

委員：会議前に図書館を見学したが、非常に広い空間だと感じた。視覚障害だけでなく車いす等により一人で来館した場合、アテンドをお願いすることは可能か。

事務局：初めて来館される障害のある方でご希望される方には最寄りの駅まで職員がお迎えにあがりご案内している。

会長：情報発信が課題ということもあったため、そういった案内もまだPRが不足しているのではないかとと思われる。

委員：令和5年度の実績で対面朗読が開始され、24回となっているが、この数字はコロナ前に戻っているのか。本学にも対面朗読があるが今はほとんど使われていないためお聞きしたい。

事務局：コロナ禍前に戻っているとは言い難い状況である。対面朗読サービスへのニーズは高いため、今年度の秋頃からサービス内容を充実させるなどを行い、コロナ禍前の水準に戻るよう努めていく。

【令和6年度豊島区立図書館事業計画について】

(事務局より資料16について説明)

委員：区立図書館と学校図書館の連携について、行政課題の解決支援も関わる場所であると思われるが、本校では学校司書が不在の時に、子どもたちが自分で学校の中の本を探すときに使える「ポケット図書館」というものがある。しかし、学校の中の図書館は蔵書が限られており、9類が多い傾向がある。たとえば子どもたちがタブレットで調べたときに、区内のどこの図書館に探している本があるのかがわかるようになるととても便利。すぐに実現するのは難しいかもしれないが、こういった取り組みがあると中高生がより図書館を利用しやすくなるのではないかと思う。

事務局：区立図書館のホームページには資料検索機能があるため、タブレットからこの機能を利用して図書を検索してみていただきたい。

会長：学校への図書配送サービスはあるか。

委員：図書ネットワーク便というものがある。担任から事前にテーマと冊数の希望を区立図書館へ連絡すると、20から30冊程度送られてくる。

委員：資料4にある調べる学習コンクール in としまの現在の参加状況について、学校によって生徒全員が参加しているのか、任意参加なのかがわかれば教えていただきたい。また、資料14「区民の日常生活において生じる疑問」のところにある「夏休み宿題応援プロジェクト」というのはどのようなことを行ったのかを教えていただきたい。

事務局：調べる学習コンクールの参加状況については、現在事務局側に詳細な情報がないため即時のお答えができない。後日改めてお示しさせていただく。

「夏休み宿題応援プロジェクト」について、巣鴨図書館では本の調べ方のコツを教える講座を行った。人数は5人程度のお子さんに対して司書が2人から3人ついていた。夏休みの自由研究等でそれぞれが調べたいテーマについて、司書がOPACの使い方を教えたり、一緒に書架へ行って本を探しどれを借りるか相談したりするなど、様々なコツを学んでいただいた。他の館でも類似の企画を実施している。

委員：対象は小学生と中学生どちらになるのか。

事務局：小学生対象。昨年は1年生から6年生まで、2日間で合計8名のお子さんが参加されていた。

委員：調べる学習コンクールについて、小学校はほとんど参加していると思うが、中学生はあまり参加していないように感じる。一番後ろに検索したものを記載する欄があるが、子どもたちはインターネットで検索しようとしてしまうので、自身が調べる学習コンクールを担当していた時は良い機会ということで夏休みの宿題にし、必ず図書館へ行って司書の方へ聞いてそれを参考に作成するようにと伝えていた。複数のご家庭で親御さんもお子さんと一緒に図書館へ行ってくれたということがあった。

委員：調べる学習コンクールを重点取り組みに入れているということは、レファレンスは必ず需要があると思う。学校図書館の場合は、学校司書に子どもたちが調べたい本について聞いていると思うので、区立図書館でももう少しレファレンスが活用できたらよいのではないか。たとえば、夏休み宿題応援の一環として専用のレファレンスカウンターを設置したり、告知ポスターを作成し、学校を通して掲示板に掲示してもらったり、チラシを小中学生に配布したりしてはどうか。子どもにとって知らない司書の方へ聞きに行くのはハードルが高いと思う。宿題を応援しているということを打ち出すと小中学生やYA層の利用も増えるのではないか。

【その他】

会長：全体を通して委員からご意見等あるか。

委員：図書館では有意義な企画を多く実施されているが、やはり宣伝が不足していると感じる。図書館通信を見たことがないという方も多し。今後 DX も進められるとのことなので、そういったものを活用して図書館がやっていることをもっと周知していったらよいではないか。

事務局：ご指摘の点は強く感じているところであり、今後改善していきたい。

会長：年代によって主に使用しているメディアが異なるため、若い世代にむけて SNS を活用するなど、様々な年代に合わせた PR が必要になってくる。今後の議論の中で深めて具現化していけたらと思う。

事務局：本日はご審議いただき感謝申し上げます。

資料 10 に本協議会の開催スケジュールを掲載している。年度で 3 回、任期中で合計 6 回実施予定。特定テーマについては本日いただいたご意見を参考に事務局で案を作成し、お示しする。開催時期については、第 2 回が 10 月から 11 月頃、第 3 回が 2 月頃を想定している。

会長：また気が付いたことや意見があれば、事務局へメール等でお送りいただきたい。以上で第 1 回豊島区図書館経営協議会を終了する。

<p>会 議 の 結 果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長、副会長の互選および決定 2. 第8期（令和6年度～7年度）協議事項について了承 3. 改修・改築館へ委員からの意見の反映を調整 4. 委員からの意見を踏まえた利用者サービスの改善、周知を行う
<p>提出された資料等</p>	<p>資料1…豊島区図書館経営協議会委員名簿</p> <p>資料2…豊島区図書館経営協議会規則</p> <p>資料3…第8期豊島区図書館経営協議会協議事項（案）</p> <p>資料4…これまでの豊島区図書館経営協議会開催内容</p> <p>資料5…豊島区立図書館の開設・運営状況及び豊島区立図書館の主な特徴</p> <p>資料6…豊島区立図書館住所別登録者数</p> <p>資料7…23区 区立図書館の状況</p> <p>資料8…23区 図書貸出サービスの状況</p> <p>資料9…23区 区立図書館の運営形態</p> <p>資料10…第8期（令和6～7年度）豊島区図書館経営協議会開催スケジュール（案）</p> <p>資料11…令和5年度豊島区立図書館事業報告（重点取組）</p> <p>資料12…令和5年度豊島区立図書館運営に係る評価基準</p> <p>資料13…令和5年度豊島区立図書館運営の評価①</p> <p>資料14…令和5年度豊島区立図書館運営状況の評価②</p> <p>資料15…令和5年度豊島区立図書館運営状況の評価③</p> <p>資料16…令和6年度豊島区立図書館事業計画（重点取組）</p> <p>資料17…令和6年度図書館経営協議会（第2回、第3回）の開催日程について</p> <p>資料18…令和5年度「豊島の図書館」速報版</p> <p>別冊…豊島区立図書館基本計画（第二次）</p> <p>別冊…豊島の図書館（令和4年度事業報告）</p>